

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エージーピー

コード番号 9377 URL <http://www.agpgroup.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉本 学

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 金子 晋也

TEL 03-3747-1631

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,511	1.1	474	60.4	437	70.1	165	84.7
24年3月期第3四半期	7,433	△5.3	295	△18.6	257	△19.2	89	△39.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 157百万円 (83.3%) 24年3月期第3四半期 85百万円 (△42.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	11.86	—
24年3月期第3四半期	6.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	11,165	5,812	52.1
24年3月期	11,583	5,752	49.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 5,812百万円 24年3月期 5,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,439	3.5	706	66.5	662	76.5	282	136.3	20.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき、上記のとおり修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日開示いたしました「平成25年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	13,950,000 株	24年3月期	13,950,000 株
25年3月期3Q	1,857 株	24年3月期	1,857 株
25年3月期3Q	13,948,143 株	24年3月期3Q	13,948,143 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界景気の減速等を背景として後退局面入りしていたものの、一部下げ止まりの兆しも見られ、輸出環境の改善などにより、再び回復へ向かうことが期待されています。

航空業界では、航空各社による国際線の増便や路線開設、本邦 LCC の就航による潜在需要の喚起などで拡大基調にあるものの、外交関係における緊張状態の継続、ボーイング 787 型機のトラブルによる運航停止とその長期化懸念など、予断を許さない状況となっています。

このような状況下、当四半期の売上高は、動力事業では、航空需要の回復に伴う就航便数の増加等により、成田空港をはじめとする国際線での販売増が寄与し、38 億 4 百万円と前年同期比 1 億 59 百万円 (4.4%) の増収となりました。整備事業では、成田空港、関西空港における設備の更新・修繕作業が期末に向けて集中していることにより、28 億 59 百万円と前年同期比 1 億 64 百万円 (5.4%) の減収となりました。付帯事業では、フードコート販売の増等により、8 億 47 百万円と前年同期比 83 百万円 (10.9%) の増収となりました。

以上により、売上高合計は、75 億 11 百万円と前年同期比 78 百万円 (1.1%) の増収となりました。

営業費用につきましては、動力事業における減価償却費の減少、整備事業における原材料費の減少等が動力事業、付帯事業の原材料費の増加を上回り、70 億 36 百万円と前年同期比 1 億円 (1.4%) の減少となりました。

この結果、営業利益は 4 億 74 百万円と前年同期比 1 億 78 百万円 (60.4%) の増益、経常利益は 4 億 37 百万円と前年同期比 1 億 80 百万円 (70.1%) の増益となりました。

これに、鹿児島・熊本・長崎各出張所閉鎖に伴う事業撤退損 1 億 28 百万円を特別損失として計上し、当四半期純利益は 1 億 65 百万円と前年同期比 75 百万円 (84.7%) の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末比 66 百万円 (1.3%) 増加の 52 億 48 百万円となりました。これは、現金及び預金が 1 億 18 百万円増加、受取手形及び売掛金が 3 億 14 百万円減少、仕掛品が 2 億 20 百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比 4 億 85 百万円 (7.6%) 減少の 59 億 17 百万円となりました。これは、減価償却進行等に伴い、主に有形固定資産が 5 億円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前期末に比べて 4 億 18 百万円 (3.6%) 減少して 111 億 65 百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前期末比 7 百万円 (0.4%) 減少の 18 億 4 百万円となりました。これは、営業未払金が 55 百万円増加し、未払費用等のその他の流動負債が 63 百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前期末比 4 億 70 百万円 (11.7%) 減少の 35 億 48 百万円となりました。これは、返済により長期借入金が 4 億 38 百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前期末に比べて 4 億 77 百万円 (8.2%) 減少して 53 億 53 百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前期末に比べて 59 百万円 (1.0%) 増加して 58 億 12 百万円となりました。これは、当四半期純利益、剰余金の配当及びその他有価証券評価差額金の加減算によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

売上高につきましては、動力事業における成田空港をはじめとする国際線の回復が想定を上回ったこと、整備事業における設備更新・修繕作業の受注増、付帯事業におけるフードカート販売等の増により予想を上回る見込みです。

営業費用につきましては、動力事業において、電力会社の電気料金値上げが想定以上に遅れたことにより原材料費の増加が抑えられたほか、設備投資計画の見直し、整備維持費の抑制、業務の効率化等、費用の圧縮に取り組んでおります。

その結果、営業利益、経常利益、当期純利益について前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、ボーイング 787 型機のトラブルによる運航停止につきましては、代替機種により運航を継続している路線も多く、現時点では当社業績に与える影響は軽微なものと想定しておりますが、今後の動向を注視してまいります。

これにより、平成 24 年 5 月 11 日に開示いたしました平成 25 年 3 月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示いたしました「平成 25 年 3 月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成 24 年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第 3 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,133,621	2,251,645
受取手形及び売掛金	1,527,996	1,213,431
有価証券	890,779	891,212
商品及び製品	72,624	59,496
仕掛品	14,109	234,744
原材料及び貯蔵品	275,665	351,021
その他	266,586	246,784
流動資産合計	5,181,383	5,248,338
固定資産		
有形固定資産		
構築物	8,655,278	8,527,381
減価償却累計額	△6,581,605	△6,780,953
構築物（純額）	2,073,673	1,746,428
機械及び装置	7,888,852	7,890,142
減価償却累計額	△6,082,265	△6,254,424
機械及び装置（純額）	1,806,587	1,635,718
その他	1,932,930	1,956,577
減価償却累計額	△1,176,658	△1,282,015
その他（純額）	756,272	674,562
土地	110,608	110,608
建設仮勘定	458,032	537,663
有形固定資産合計	5,205,173	4,704,980
無形固定資産		
その他	51,422	39,994
無形固定資産合計	51,422	39,994
投資その他の資産		
その他	1,152,581	1,179,131
貸倒引当金	△6,600	△6,600
投資その他の資産合計	1,145,981	1,172,531
固定資産合計	6,402,576	5,917,506
資産合計	11,583,960	11,165,845

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	466,378	521,736
未払法人税等	82,053	58,894
資産除去債務	—	24,848
その他	1,263,491	1,199,420
流動負債合計	1,811,923	1,804,900
固定負債		
長期借入金	2,307,700	1,868,750
退職給付引当金	1,457,125	1,490,757
資産除去債務	32,152	31,795
その他	222,659	157,367
固定負債合計	4,019,637	3,548,670
負債合計	5,831,560	5,353,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	114,700	114,700
利益剰余金	3,598,943	3,666,668
自己株式	△630	△630
株主資本合計	5,751,762	5,819,488
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	636	△7,213
その他の包括利益累計額合計	636	△7,213
純資産合計	5,752,399	5,812,274
負債純資産合計	11,583,960	11,165,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	7,433,070	7,511,195
売上原価	6,585,665	6,490,359
売上総利益	847,404	1,020,836
販売費及び一般管理費	551,720	546,554
営業利益	295,684	474,281
営業外収益		
受取利息	1,926	2,130
受取配当金	534	769
その他	3,199	2,572
営業外収益合計	5,661	5,473
営業外費用		
支払利息	43,446	37,529
その他	720	4,692
営業外費用合計	44,166	42,221
経常利益	257,179	437,533
特別利益		
固定資産売却益	24	—
その他	—	199
特別利益合計	24	199
特別損失		
固定資産除却損	1,116	17,650
事業撤退損	—	※ 128,018
貸倒引当金繰入額	2,825	—
特別損失合計	3,941	145,669
税金等調整前四半期純利益	253,261	292,063
法人税、住民税及び事業税	93,231	130,732
法人税等調整額	70,502	△4,030
法人税等合計	163,734	126,701
少数株主損益調整前四半期純利益	89,527	165,362
四半期純利益	89,527	165,362

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89,527	165,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,583	△7,849
その他の包括利益合計	△3,583	△7,849
四半期包括利益	85,944	157,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,944	157,512

【注記事項】

(連結損益計算書関係)

※ 事業撤退損

事業撤退損128,018千円の内訳は、鹿児島空港、熊本空港、長崎空港の事業場の閉鎖に伴う有形固定資産の減損損失96,426千円、その他閉鎖に伴う費用31,592千円であります。

(減損損失)

第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)において当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

(単位：千円)

用途	種類	場所	その他
処分予定資産	構築物・機械装置	鹿児島空港内 熊本空港内 長崎空港内	旅客搭乗橋懸架式電力供給設備

当社グループは、事業用資産については事業セグメントを基礎としてグルーピングを行っております。

第2四半期連結会計期間において3空港内の事業場の閉鎖が確定したため、該当資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減損損失96,426千円は特別損失「事業撤退損」に含めて表示しております。

減損損失の内訳は、構築物93,409千円、機械装置3,017千円であります。

なお、処分予定資産の回収可能価額は、使用価値により測定しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当該事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	3,645,306	3,023,700	764,063	7,433,070
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,690	3,690
計	3,645,306	3,023,700	767,753	7,436,760
セグメント利益	187,038	402,594	169,517	759,150

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	759,150
全社費用（注）	△463,466
四半期連結損益計算書の営業利益	295,684

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	動力事業	整備事業	付帯事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	3,804,738	2,859,015	847,441	7,511,195
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,279	3,279
計	3,804,738	2,859,015	850,721	7,514,475
セグメント利益	438,699	315,813	178,275	932,789

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	932,789
全社費用（注）	△458,507
四半期連結損益計算書の営業利益	474,281

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報
 第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）において
 当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位：千円)

減損損失	報告セグメント			合計
	動力事業	整備事業	付帯事業	
	96,426	—	—	96,426

4. 報告セグメントごとののれん等に関する情報
 該当事項はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。